

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

| | |
|--------|-------------------------------|
| 製品名 | : 硬化剤(青) |
| 製品コード | : 100354 |
| 会社名 | : 株式会社創新 |
| 住所 | : 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックスドールビル3階 |
| 電話番号 | : 03-3918-3100 |
| FAX番号 | : 03-3918-3511 |
| 推奨用途 | : 硬化剤 |
| 使用上の制限 | : 業務使用 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|-----------------------------------|-------------------|
| 物理化学的危険性 | 有機過酸化物 | タイプE |
| 健康に対する有害性 | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 皮膚感作性 | 区分2 区分1 |
| 環境に対する有害性 | 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 水生環境有害性 短期(急性) | 区分3(気管刺激性) 区分1 |

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル

注意喚起語
危険有害性情報

危険
熱すると火災のおそれ
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に非常に強い毒性

注意書き
安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
他の容器に移し替えないこと。
涼しいところに置くこと。
容器を接地しアースを取ること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
屋外または換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。

応急措置

火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合: 多量の水/(石鹼)で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

| | |
|----|---|
| 保管 | 気分が悪い時は医師に連絡すること。 |
| | 漏出物を回収すること。 |
| 廃棄 | 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 |
| | 25℃を超えない温度で保管すること。 |
| | 他の物質から隔離して保管すること。 |
| | 直射日光から保護して保管すること。 |
| | 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。 |

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 :

| 化学名 | 含有率 | CAS番号 | 化審法番号 | 安衛法 | | PRTR |
|---------------|--------|---------|--------|-----|----|------|
| | | | | 表示 | 通知 | |
| ベンゾイルパーオキシサイド | 30-60% | 94-36-0 | 3-1349 | 該当 | 該当 | 非該当 |

4. 応急措置

| | | |
|-----------|---|---|
| 吸入した場合 | : | 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 |
| 眼に入った場合 | : | 直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 |

5. 火災時の措置

| | | |
|------------------|---|--|
| 消火剤 | : | 粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水 |
| 使ってはならない消火剤 | : | 棒状注水 |
| 火災時の特有の危険有害性 | : | 適合しない物質と接触したり、SADT を超える温度にさらされたりすると、自己発火する可能性のある可燃性蒸気の放出を伴う自己加速分解反応を引き起こす可能性があります。 |
| 特有の消火方法 | : | 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業は、風上から行う。 周囲の設備等に散水して冷却する。 |
| 消火を行う者の保護具及び予防措置 | : | 消火活動では適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。 |

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
漏洩時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
静電気放電に対する予防措置を講じること。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

不活性吸収剤で漏洩物を覆い吸収させてこれを適切な空容器等に回収する。
静電気対策を講じる。

中和

「13、廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止策

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

空中濃度を管理濃度、許容濃度或は推奨される濃度以下を保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いには、換気の良い場所で行う。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件

熱、火花、炎、その他の着火源(パイロットランプ、電気モーター、静電気など)から遠ざける。
容器を密閉して、涼しく換気の良い場所に保管する。
熱から遠ざけ、適切に表示された容器に保管する。
10~25°Cを超えない温度で保管する。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

安衛法 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会(2022年度) 設定されていない
ACGIH(2020年度) ベンゾイルパーオキシド TWA 5mg/m³

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源を密閉化し、又は、局所排気装置を設置する。
取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する

保護具

呼吸用保護具: 有機ガス用防毒マスクを着用する
手の保護具: 耐透過性保護手袋
眼の保護具: 安全眼鏡、安全ゴーグル
皮膚及び身体の保護具: 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|---|
| 物理的状態 | 液体 |
| 色 | 青 |
| 臭い | エステル類似臭 |
| 融点/凝固点 | 情報なし |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 情報なし 沸点以下で分解 |
| 可燃性 | 可燃性 |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | 情報なし |
| 引火点 | 115°C |
| 自然発火点 | 情報なし |
| 分解温度 | 自己加速分解温度(SADT)=50°C 試験したパッケージサイズが自己促進分解反応を起こす最低温度。 |

| | |
|----------------------|------------------------------|
| pH | 情報なし |
| 動粘性率 | 情報なし |
| 溶解度 | 水に対して不溶 |
| n-オクタノール/水分配係数(log値) | 情報なし |
| 蒸気圧 | 情報なし |
| 密度 | 1.15g/cm ³ (25°C) |
| 相対ガス密度 | 情報なし |
| 粒子特性 | 情報なし |
| その他データ | VOC含有率 8.9% |

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の条件では安定。

化学的安定性

推奨する保管条件下では安定。

危険有害反応可能性

通常の取扱いでは起らない。

避けるべき条件

加熱、炎、火花

混触危険物質

強酸化剤、酸、アルカリ

危険な分解生成物

熱分解により、刺激性で有毒なガスや蒸気が放出される可能性がある。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報はない、成分の有害性情報は以下の通りである。

急性毒性

| | | |
|----|-------------|--------------------|
| 経口 | ベンゾイルパーオキシド | ラットLD50 >5000mg/kg |
| 経皮 | ベンゾイルパーオキシド | 情報なし |
| 吸入 | ベンゾイルパーオキシド | LC50 ≥24.3mg/L |

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

ベンゾイルパーオキシド 軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

ベンゾイルパーオキシド 区分2

呼吸器感作性

情報なし

皮膚感作性

ベンゾイルパーオキシド 区分1

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

ベンゾイルパーオキシド IARC グループ3

生殖毒性

情報なし

特定標的臓器毒性 単回ばく露

ベンゾイルパーオキシド 区分3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性 反復ばく露

情報なし

誤えん有害性

情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

ベンゾイルパーオキシド 区分1

オオミジンコの48時間EC50=0.07mg/Lから、区分1とした。

水生環境有害性 長期(慢性)

ベンゾイルパーオキシド 区分外

急速分解性であり、生物濃縮性が低いことから区分外とした。

残留性・分解性

情報なし

生体蓄積性

情報なし

土壌中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の附属書に列記されている成分を含有していない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送

| | |
|----------|---|
| 国連番号 | UN3108 |
| 品名(日本語名) | 有機過酸化化物、固体 タイプE(ベンゾイルパーオキシド) |
| 品名(英語名) | ORGANIC PEROXIDE TYPE E, (DIBENZOYL PEROXIDE) |
| 国連分類 | 5.2 |
| 容器等級 | - |
| 海洋汚染物質 | - |

航空輸送

| | |
|----------|---|
| 国連番号 | UN3108 |
| 品名(日本語名) | 有機過酸化化物、固体 タイプE(ベンゾイルパーオキシド) |
| 品名(英語名) | ORGANIC PEROXIDE TYPE E, (DIBENZOYL PEROXIDE) |
| 国連分類 | 5.2 |
| 容器等級 | - |

緊急時応急措置指針番号 (NAERG) 145

国内規制

海上規制情報 船舶安全法の規定に従う

航空規制情報 航空法の規定に従う

陸上規制情報 消防法の規定に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

| | | |
|-------------|--------------------------|-------------|
| 化学物質排出管理促進法 | 第一種指定化学物質 | 非該当 |
| 労働安全衛生法 | 通知義務物質 | ベンゾイルパーオキシド |
| 労働安全衛生法 | 表示義務物質 | ベンゾイルパーオキシド |
| 労働安全衛生法 | 有機溶剤中毒予防規則 | 非該当 |
| 労働安全衛生法 | 特定化学物質障害予防規則 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | | 非該当 |
| 化審法 | 優先評価化学物質 | 非該当 |
| 消防法 | 危険物 第四類 第3石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ | |

16. その他情報

ITW Evercoat社SDS: Revision Date:09-Apr.-2020, Version 11に対応

JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法'-ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS)」に対応

NITR-CHRP

GHS政府分類結果

ACGIH TLVs and BELs 2020

非該当: 令和5年化管法改訂にともなうSDS改訂

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手配を対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。